

副腎機能不全とは

体を保つために必要なホルモンが不足する状態

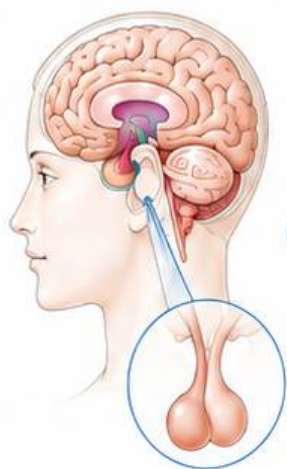
定義

副腎機能不全は、副腎皮質ホルモン、主にコルチゾールが不足し、
血圧・血糖・炎症反応・体の負荷への対応などが保ちにくくなる状態です。

ホルモンが作られ、全身にはたらくまで

1

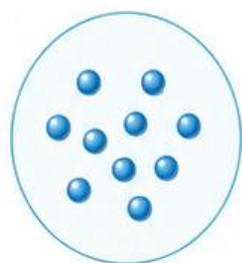
視床下部・下垂体



脳の視床下部や
下垂体が、体の状態を
モニターし、指令を
出します。

2

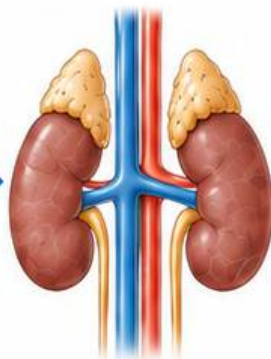
ACTHなどの指令



副腎に向けて、
ACTH(副腎皮質
刺激ホルモン)などの
指令を送ります。

3

副腎



指令を受けた副腎が、
コルチゾールなどの
ホルモンをつくります。

4

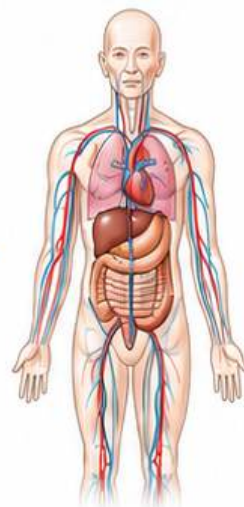
コルチゾール



つくられたコルチゾールが、
血液を通じて全身の臓器や
組織に作用します。

5

全身



コルチゾールが、
血圧・血糖・炎症反応・
体の負荷への対応などを
調整し、体を保ちます。



ポイント

『ストレスの数値』だけではなく、
日常生活を維持し、病気・けが・手術などの負荷に
対応するために欠かせないホルモンです。

コルチゾールの主な役割

体を保つために必要なはたらき

1 朝、体を起こす

朝に分泌が高まり、
眠っていた体を目覚めさせます。



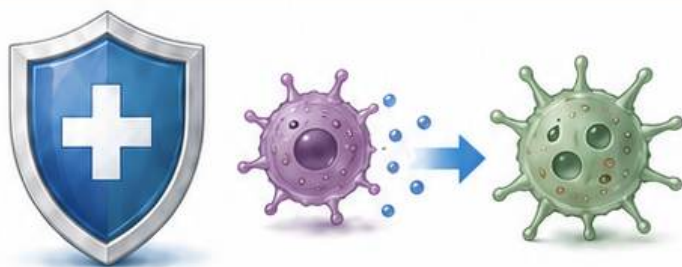
2 血圧・血糖を保つ

血圧や血糖を安定させ、
全身に必要なエネルギーを届けます。



3 炎症反応を調整する

炎症反応を調整し、
過剰な反応を抑えます。



4 病気・けが・手術などの 負荷に対応する

体にかかる負荷に
対応できるよう支えます。



コルチゾールは「ストレスの数値」ではなく、
日常生活を支える土台となるホルモンです。

コルチゾールが不足すると

みられることがある主な症状



- 強いだるさ、疲れやすさ
- 立ちくらみ、ふらつき、低血圧
- 吐き気、食欲低下
- 低血糖になりやすい
- 症状が強いと急に悪化することがある



ポイント

副腎機能不全では、血圧・血糖・炎症反応・体の負荷への対応が保ちにくくなるため、全身の不調として現れることがあります。



受診の目安

症状が続く場合や、急な悪化・ぐったり感・意識障害がある場合は、速やかに医療機関へ相談してください。